

## 第 15 回須坂新校再編実施計画懇話会

日時：令和 6 年 4 月 26 日（金）

午後 6 時～午後 7 時 30 分

会場：須坂市シルキーホール 第 1 ホール

### <次 第>

#### 1 開会

#### 2 挨拶

#### 3 構成員の増員について

#### 4 新構成員・事務局員自己紹介

#### 5 会議事項

(1) 「第 14 回須坂新校再編実施計画懇話会」のまとめ

(2) 須坂新校施設整備事業の経過報告

(3) 施設整備基本計画について

(4) ワークショップ報告

(5) 現時点の検討状況について

(6) 仮設計画について

#### 6 その他

##### <次回の予定>

(1) 第 16 回須坂新校再編実施計画懇話会

(日時) 令和 6 年 6 月から 7 月を予定

(会場) 調整中

(内容) 施設整備基本計画について、校名選考について

#### 7 閉会

## 須坂新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

○印 新規構成員

区分	氏名	所属等
1	三木 正夫	須坂市 市長
2	○ 田中 洋友	小布施町 副町長
3	藤沢 敏和	高山村 副村長
4	○ 勝山 幸則	須坂市教育委員会 教育長
5	春原 博	須坂商工会議所 専務理事
6	神戸 佳代	小布施町商工会 女性部長
7	久保 正直	アスザック株式会社 代表取締役社長
8	浅井 洋子	須坂東高等学校同窓会 会長
9	霜田 剛	須坂創成高等学校同窓会 副会長
10	半田 志郎	国立大学法人信州大学工学部 特任教授
11	米山 宏貴	須坂東高等学校PTA 会長
12	○ 長岡 孝典	須坂創成高等学校PTA 会長
13	赤城 千恵美	上高井郡市PTA連合会 副会長
14	坪井 扶司夫	上高井校長会 代表 (墨坂中)
15	○ 上野 恵佐夫	上高井校長会 代表 (豊洲小)
16	○ 坪井 俊文	長野地域振興局長
17	二ノ宮 邦彦	元 県立高等学校長
18	大宮 透	小布施町職員
19	小林 雅彦	須坂市教育委員会 前教育長
20	○ 安藤 駿	須坂東高等学校生徒会 会長
21	○ 阿部 大輔	須坂東高等学校生徒会 副会長
22	○ 河田 晴森	須坂創成高等学校生徒会 会長
23	○ 石井 ひなの	須坂創成高等学校生徒会 副会長
24	山田 純子	須坂東高等学校長
25	山岸 暢	須坂東高等学校 教諭
26	羽山 功	須坂創成高等学校長
27	市村 宣幸	須坂創成高等学校 教諭

### 事務局

須坂東高等学校		須坂創成高等学校		高校再編推進室	
○ 中村 勝博	教頭・副事務局長	宮川 敏晃	教頭・事務局長	井出 敦	主幹指導主事
嶋田 順一		市村 宣幸		有坂 清明	主任指導主事 (須坂新校担当)
酒井 健次		柳澤 亘		○ 土橋 邦彦	主任指導主事 (須坂新校副担当)
山岸 暢		春原 真			
○ 酒井 知之		○ 塚田 和弘			

## 第14回 須坂新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

<b>日時</b>	令和5年12月25日(月) 18時00分～19時30分		
<b>場所</b>	須坂市生涯学習センター 3階 ホール		
<b>出席 (敬称略)</b>	新井 隆司, 小林 雅彦, 春原 博, 神戸 佳代, 久保 正直, 浅井 洋子, 霜田 剛, 半田 志郎, 米山 宏貴, 柴田 弘彦, 富沢 孝, 尾島 信久, 二ノ宮 邦彦, 大宮 透, 堀内 煌大, 関 怜士, 山口 隼, 山田 純子, 羽山 功, 市村 宣幸 (以上20名)		
<b>欠席 (敬称略)</b>	三木 正夫, 藤沢 敏和, 赤城 千恵美, 坪井 扶司夫, 山岸 暢, 木村 友香		<b>傍聴者</b> 6名
<b>事務局</b>	須坂東高校	宮下 教頭(副事務局長), 嶋田 教諭, 酒井 教諭, 山岸 教諭, 高坂 教諭	
	須坂創成高校	宮川 教頭(事務局長), 市村 教諭, 柳澤 教諭, 春原 教諭, 河野 教諭	
	県教育委員会	柳澤 主幹指導主事, 井出 主任指導主事, 有坂 主任指導主事, 小池 主査, 倉澤 主事	
<b>当日資料</b>	次第, 第13回須坂新校再編実施計画懇話会まとめ(案), 須坂新校施設整備事業基本計画策定支援業務委託プロポーザル二次審査提案書および説明資料		

### 会議事項

- (1) 第13回須坂新校再編実施計画懇話会のまとめ(案)
- (2) 須坂新校施設整備事業基本計画策定支援業務委託プロポーザル二次審査提案書の説明、意見交換

### 構成員から出された主な意見(要旨) (⇒業務委託業者回答 →県教委回答)

- FLA(フレキシブルラーニングエリア)についてももう少し説明をお願いしたい。  
⇒FLAの使い方が今回の学校の肝。FLAが教室のような役割を果たすこともある。FLAと教室を一体にして分野横断をする授業を行うことも考えられる。使い方については時間をかけて議論したい。
- ゼロカーボンについて配慮されている点があるか。  
⇒ZEBを学校建築でどこまでやれるかがNSDのトライアル。ひとつの指標として、ZEBより少し低い段階のZEB Readyを目指して進めたい。
- プロポーザルの審査の段階で、この案の中で特に評価された点について教えてほしい。  
⇒どのようにも対応できるという点。これからワークショップや懇話会で意見が出たときに分野、学年、探究の授業ごとに分けることができるフレキシビリティがあるということが評価された。
- こういう学校が実現出来たら素晴らしいが、生徒が減っていく中で、既存校舎や仮設校舎を活用して統合を早めることは可能か。  
→開校にあたっては環境面やハード面で新たな学びの場を整えてからという考えを基本としている。
- 近隣施設を積極的に活用してほしい。学校の近くに民間の屋内プールもあり、そこで授業ができれば生徒のためになるであろうし、特別免許状を発行して専門の方に授業を助けてもらうことも考えられる。
- 新校は単位制の学校ということで生徒の空き時間ができると思う。NSDプロジェクトの説明の際に、生活空間ということもあったが、単位制を踏まえた上で生徒の居場所というものを考えてほしい。
- 今まで懇話会で検討してきた、地域開放、生涯学習の拠点、4つの学科の融合という観点がよく入っている。ICTの教育について話しあったが、そういう点でのゾーニングも考えられ、新しい教育ができそうだ。

### その他

#### 【次回】第15回懇話会

日程：令和6年3月～4月の実施を予定

内容：NSD進捗状況を説明

# 須坂新校施設整備事業の経過報告

## 1. 施設整備の打合せ

- 学校・設計チーム・県教委による打合せ（三者打合せ）

令和5年12月4日を初回として3回実施（対面・オンライン）

- 設計チーム・県教委による打合せ（二者打合せ）

令和5年11月20日を初回として9回実施（対面・オンライン）

- 学校と県教委による打合せ

必要に応じ随時

## 2. 施設整備ワーキンググループの設置

- 両校教職員代表（16人）により設置

- 施設整備について専門的に議論（必要な諸室、要望を設計チームに伝達）

- 設計チームは要望を案に反映

→提案書の配置・平面計画をブラッシュアップ

- 専門科の諸室についてのヒアリング

## 3. ワークショップ

- 2月13日（火） 須坂市シルキーホール 地域・生徒対象（39名参加）

- 3月4日（月） 上高井郡役所 生徒対象（22名参加）

- 4月20日（土） bota 地域・生徒対象（17名参加）

## 4. 現地調査

- 設計チームが随時実施

# 施設整備基本計画について

## (1) 基本計画の目的

### **設計の基本方針、施設性能、施設規模を確定させる**

## (2) 基本計画書に記載する内容：

- ①事業の目的、②教育研究の効果（学びのイメージ）、
- ③敷地条件、④施設規模・位置、⑤必要諸室、⑥機能関連図、
- ⑦事業スケジュール、⑧概略の必要経費 等

引用・参考：文部科学省「国立大学等施設の設計に関する検討会報告書」 平成26年3月

イメージ

家を建てる場合を考えると…

- ①大人2人、子ども2人で静かに住む。
- ②家族が毎日顔を合わせて生活できる。
- ③●●市▲▲町◆番地の自身の所有地。角地。
- ④木造2階建て。敷地北側に建てて南側を駐車場にする。
- ⑤3LDK。1階はLDK、風呂。2階に寝室と子ども部屋。それぞれにトイレ。
- ⑥ZEH。オール電化。太陽光パネル必須。
- ⑦長女の小学校入学前に引っ越したいので、1年6か月以内。
- ⑧3千万円

# 施設整備基本計画決定後

○基本計画終了後 → 基本設計 → 実施設計 → 工事

○基本設計の目的

**基本計画の内容を踏まえ**、空間を具体化しながら法令上、意匠上、  
技術上の課題を検討し**設計内容を確定させる**

○基本設計図書に記載する内容：

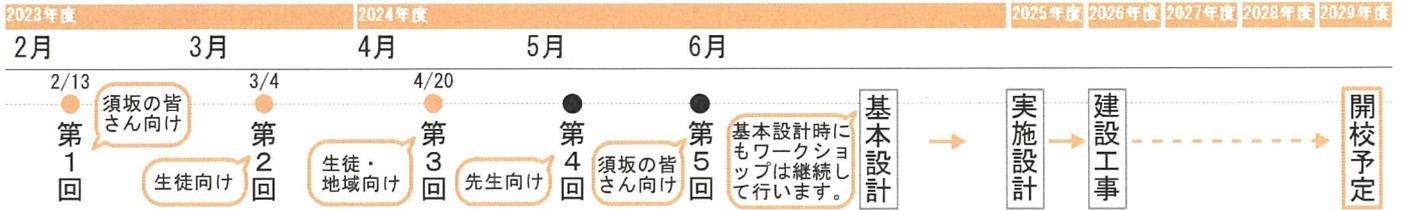
- ・設計図（配置図、平面図、立面図、断面図 等）
- ・各種計画（外観デザイン、動線、構造、防災、電気設備、機械設備）

○実施設計の目的

基本設計に基づき、建物の施工に必要な**設計図書や各種計算書等を作成する**

引用・参考：文部科学省「国立大学等施設の設計に関する検討会報告書」 平成26年3月

●ワークショップについて  
○スケジュール



※開催時期、内容は変更になる場合もあります。

○ワークショップ 事前アンケート (期間：2024/1/31~2/8 方法：Googleフォームで回答)

○回答者割合 計409名



○アンケート内容

- あなたが知っている「須坂のまち/須坂創成高校/須坂東高校」の自慢できるところはどこですか？
- 「須坂のまち/須坂創成高校/須坂東高校」がこうなったら良いと思うポイントはどこですか？
- ズバリ、「須坂のまち/須坂創成高校/須坂東高校」の魅力はなんですか？
- 「須坂のまち/須坂創成高校/須坂東高校」の弱点はどこだと思いますか？
- あなたにとって「須坂のまち/須坂創成高校/須坂東高校」の好きな場所はどこですか？

地域の方

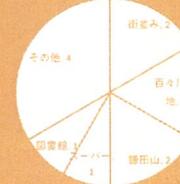
16件回答

2024/3/19 コンテンポラリーズ作成

- 自慢できるところ
- こうなったら良い点
- 魅力は？
- 弱点は？
- 好きな場所は？



- その他
- ・地域の結びつき
  - ・スキー場のアクセス
  - ・簿記部全国大会出場



- その他
- ・コンパクトさ
  - ・臥龍公園
  - ・千曲川の堤防

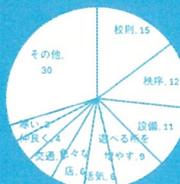
須坂創成高校

生徒 229件 先生 5件 計234件回答

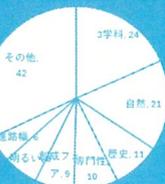
- 自慢できるところ
- こうなったら良い点
- 魅力は？
- 弱点は？
- 好きな場所は？



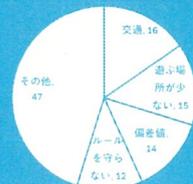
- その他
- ・景色
  - ・駅近
  - ・庭
  - ・校舎が大きい
  - ・制服がかわいい
  - ・規則がしっかり



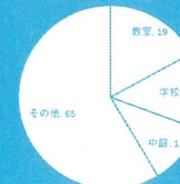
- その他
- ・専門の授業を多く
  - ・地域連携
  - ・アイスの自販機



- その他
- ・校舎がきれい
  - ・地域の人と関わる
  - ・イベントが多い



- その他
- ・3科連携の機会が少ない
  - ・部室が汚い
  - ・段差が多い



- その他
- ・体育館
  - ・工業棟
  - ・屋上
  - ・パソコン室
  - ・校庭
  - ・図書館

須坂東高校

生徒 159件回答

- 自慢できるところ
- こうなったら良い点
- 魅力は？
- 弱点は？
- 好きな場所は？



- その他
- ・個性的
  - ・私服
  - ・静か
  - ・自由
  - ・先生が優しい
  - ・リンゴ畑



- その他
- ・行事を楽しむ
  - ・冷暖房設備
  - ・交流の場を増やす



- その他
- ・個性的
  - ・古い、田舎
  - ・購買のパン
  - ・噴水



- その他
- ・交流があまりない
  - ・元気がすぎる
  - ・設備が古い



- その他
- ・音楽室
  - ・グラウンド
  - ・登下校の道

※アンケートから一部抜粋しています。

みんなで

須坂新校について

考えてみよう

ワークショップ報告書

2024/2/13(火)  
16:15~18:00  
@須坂シルキーホール 開催!

NSD  
Nagano School Design  
高校再編

## 第1回 「須坂ってどんなところ？」

須坂創成高校と須坂東高校が統合し、須坂新校が開校致します。農業科、工業科、商業科、普通科(みらいデザイン科(仮))による4科融合と高校と地域との融合をテーマにワークショップを通して皆さんと一緒に考えていきます。

第1回ワークショップのテーマは「須坂ってどんなところ？」でした。事前に須坂の地域のみなさん、須坂創成高校と須坂東高校の生徒と教職員のみなさんにアンケートを実施しました。須坂の街/須坂創成高校に対して/須坂東高校に対して①自慢できるところは？②こうなったら良いと思うポイントは？③魅力は？④弱点は？⑤好きな場所はどこ？という内容をGoogleフォームにて回答頂きました。計409件の回答を頂き、須坂の街のことや高校のことをみなさんはどのように考えているのかを知ることが出来ました。アンケート結果は抜粋したものをワークショップの際に参加者のみなさんに共有しました。(別紙参照)ワークショップの参加者は各学校の高校生や教職員のみなさん、地域のみなさん、見学者の方を含み39名お集まり頂きました。



▲設計チーム倉斗綾子さんによる「学校づくり」についての講義

須坂新校の設計を担当するコンテンポラリーズ、第一設計の代表として、柳澤潤(コンテンポラリーズ)からプロポーザル時点の案の説明を行いました。また、学校計画の専門家、倉斗綾子さん(千葉工業大学、創造工学部教授)からこれからの学校づくりについて講義を行いました。各教室の間につくられた共有スペースFLA(フレキシブルラーニングエリア)の使い方の紹介や地域と学校の融合の仕方について、事例を用いて紹介しました。



▲プロポ時点のイメージ 「Open Campus」としての須坂新校



▲参加者のみなさんに、プロポーザルの案を模型を用いて説明

グループワークでは所属が混ざるように座り、各テーブルごとに、まず須坂のまち/須坂創成高校/須坂東高校にもつイメージを書き出して発表しました。「蔵の街」や、「自然が豊か」などがあげられる一方、高校生からは「遊ぶ場所や集まる場所がない」といった意見もあげられていました。2つ目の議題として須坂新校に期待することをグループで話し合いました。「新校で須坂に人を集めたい」や「須坂市が活気づく学校」など地域全体を意識した意見に加えて、「友人をつくるきっかけが多い学校」や「カフェや学食が欲しい」など学校の中に関することまで幅広く意見がでました。



▲グループワーク ディスカッション、発表の様子

ワークショップの終わりにプロポーザルの案への意見や、ワークショップに対しての感想のアンケートを行いました。「若い人の意見を聞いて良かった」「高校生の参加も多く、様々な意見が聞けた」という意見もあり、グループ内での話し合いや発表を通して、須坂のみなさんの考えを全体で共有することができました。それに対して、「もっと地域の人のお話をきいてほしい」という意見もありました。今後の第2回、第3回、第4回は各回ごとに対象者を分けて、よりその立場ごとに須坂新校の在り方や、地域と4科の融合の方法など、皆さんと一緒に考えていければと思います。

■次回ワークショップ 3/4(月) @須坂市旧上高井郡役所  
第2回 生徒 「4科融合ってどうなるの？」 13:30~15:30  
第3回 地域 「地域と学校の融合ってどうなるの？」 16:30~18:30

主催：長野県教育委員会 / 企画運営：コンテンポラリーズ+第一設計  
お問い合わせ：長野県教育委員会事務局 高校教育課  
高校再編推進室 tel:026-235-7452  
コンテンポラリーズ tel:045-680-5157 / mail:ito@contemporaries.jp

みんなで

須坂新校について

考えてみよう

## ワークショップ報告書

2024/3/4(月)  
13:30~15:30  
@須坂市旧上高井郡役所 開催!NSD  
Nagano School Design  
高校再編

## 第2回 「4科の融合ってどうなるの？」

須坂創成高校と須坂東高校が統合し、須坂新校が開校致します。農業科、工業科、商業科、普通科(みらいデザイン科(仮))による4科融合と高校と地域との融合をテーマにワークショップを通して皆さんと一緒に考えていきます。

第2回ワークショップのテーマは「4科の融合ってどうなるの？」でした。事前アンケートでは①4科融合についてどう考える?②4科融合の新校でやりたいことは?③地域と4科融合をどう考える?④日常で大切にすることは?に加えて、須坂創成高校の3科連携の良い所、創成フェアについて、須坂東高校の須坂WSについて、地域の人と関わる機会について、Googleフォームにて回答頂きました。計24件の回答を頂き、高校生達の過ごし方をよりリアルに考えることが出来ました。第2回ワークショップは須坂創成高校と須坂東高校の生徒のみならず、合計22名の方にお集まり頂きました。



▲新校について設計者(柳澤潤/コンテンポラリーーズ)が説明する様子

第2回のテーマは「4科融合ってどうなるの?」ということで、前半は新校での各教室の混ざり方についてのグループワークを行いました。各高校の既存の教室配置が書かれた紙に、生徒のみなさんがどのように日常を過ごしているのか、どの場所にいることが多いのかなどを書き込み、各テーブルで発表を行いました。主にホームルーム教室にいるが、部活に所属している生徒は美術室や体育館、委員会を行っている生徒は生徒会室など放課後に何をしているかによって活動の場所が決まっています。お気に入りの場所としては、鏡がある場所、暖かい場所、人があまり来ない場所などがあげられていました。また、両校とも最も多かった意見としては、教室が寒い、暑い、トイレを綺麗にしたいなどの設備の面に対する意見でした。長い時間を過ごしている生徒達だからこそ、校舎に対しての要望や日常の細かな気づきなどもあり、多くの意見をきくことができました。



▲左)学校での過ごし方について発表 / 右)模型で空間を考える様子

後半のグループワークではFLA(フレキシブルラーニングエリア)という教室と教室の間にある共有スペースの使い方について模型を使ってみんなで考えました。テーブルごとで新校の一部を切り取った図面の上に、使い方をグループで話し合いながら椅子やテーブル、本棚、ホワイトボード、ベンチの模型を並べました。「トイレの前に待合のベンチが欲しい」「テラスに友達とひっそりとおしゃべりができる場所が欲しい」など、普段学校で過ごしていて欲しいと思っていた場所をつくっていました。また、「本棚をジグザグに並べて、廊下を走らないようにした」「先生にすぐに質問できるように質問コーナーを廊下につくった」「大人数で話し合いできるように大きな机を廊下に並べた」などFLA全体をどのように使いたいかを考えている提案もありました。



▲どのような空間があると良いか、模型使って発表する様子

最後に、ワークショップに対しての感想のアンケートを行いました。「楽しく作業ができた」「他校の生徒と話す機会がないので、楽しかった」「模型に触るのが初めてだった」「ワクワクした」という感想が多くありました。また、案に対しては「実際には通えないけど通ってみたい学校だと思った」「廊下がないのがよい」「色んな人と交流ができそう」「色んなところで勉強が出来そうで良い」という意見を頂きました。現状については「教室の中が生徒でいっぱいなので廊下も使えると良い」などの意見もありましたので、新校全体が居場所になれるような学校を目指していきます。



▲「きぼうのき」の前で、参加者の生徒の皆さんと集合写真

## ■次回ワークショップ

第3回 地域+生徒 対象ワークショップ

「地域と学校の融合ってどうなるの?」13:30~15:30

4/20(土) @bota 須坂市子育て就労総合支援センター

主催:長野県教育委員会 / 企画運営:コンテンポラリーーズ+第一設計

お問い合わせ:長野県教育委員会事務局 高校教育課

高校再編推進室 tel:026-235-7452

コンテンポラリーーズ tel:045-680-5157 / mail:ito@contemporaries.jp

みんなで

須坂新校について

考えてみよう

## ワークショップ報告書

2024/4/20(日)  
13:30~15:30  
@tota(ぼーた) 開催!NSD  
Nagano School Design  
高校再編

## 第3回 「地域と学校の融合ってどうなるの？」

須坂創成高校と須坂東高校が統合し、須坂新校が開校致します。農業科、工業科、商業科、普通科(みらいデザイン科(仮))による4科融合と高校と地域との融合をテーマにワークショップを通して皆さんと一緒に考えていきます。

第3回ワークショップのテーマは「地域と学校の融合ってどうなるの？」でした。事前アンケートでは①地域と高校が融合することで期待することは？②日常において大切にしていることは？③須坂の街に期待することは？④高校生に期待することは？⑤どのような場所があったら使いたい？という項目について、Googleフォームにて回答頂きました。計49件の回答を頂き、地域の皆さんの須坂の街に対しての思いや、新校に期待することを知ることができました。第3回ワークショップは須坂創成高校と須坂東高校の生徒のみなさん5名と、地域のみなさん11名の合計16名の方にお集まり頂きました。



▲新校について設計者(柳澤潤/コンテンポラリーズ)が説明する様子

第3回のテーマは「地域と学校の融合ってどうなるの？」ということで、前半は地域と学校で、どんな活動・交流を行いたいのかグループワークを行いました。地域の方と高校生が同じ班の中で対等に意見を出し合いました。主には、新校に新しくつくられる地域交流のFLA(フレキブルラーニングエリア)を中心に、体育館前のオープンスペース、学校内の庭(沈床・築山山水等)を舞台に、文化祭や創成フェアの拡大版としてイベントを行うという意見や、日常的に地域の方も学校にきて利用可能なカフェや、ギャラリーをつくるという意見を頂きました。4科が融合する学校ということで、専門的な知識を高校生が学ぶだけでなく、地域の方と一緒に学びを共有・実践していくような活動をしてみたいという意見が、双方から出ていたことがとても印象的でした。



▲左)学校での過ごし方について発表 / 右)模型で空間を考える様子

後半のグループワークでは前半に出たアイデアを具体的に考え、場所や時間、誰が運営していくか等話し合いました。「曜日ごとに高校生と地域でシフト分けをする」「机は大きな丸テーブルとし、地域だけ学生だけで固まらないようにする」「カフェのメニューを大試食会を開いて決めていく」等、どうすれば地域と学校が交流できるか双方が活発に意見を出し合っていました。普段はなかなか聞くことができない地域と学校それぞれの意見を聞くことが出来、とても新鮮な交流が出来たグループワークとなりました。今回行ったグループワークがまさにこれから新校で行われていく「新しい学びの形」を具現化していたように感じます。新校ができれば、今回のような活動が更に活発になっていくと感じました。



▲どのような空間があると良いか、模型使って発表する様子

最後に、ワークショップに対しての感想のアンケートを行いました。「楽しく作業ができた」「高校生・地域の方の意見が聞けて良かった」「地域の方と一緒にイベントをしてみたい」「地域・学校の学び直しの場として活用したい」などという感想が多くありました。また案については、「地域や他の学科など様々な人・世代・専門で交流があることが良い」「新しい発見が生まれそう」という、交流や融合に対し前向きな意見を多く頂きました。誰もが対等に気兼ねなく交流が出来、お互いが学びあえる交流の場となれるような学校を目指していきます。



▲参加者の地域のみなさん、生徒の皆さんと集合写真

## ■次回ワークショップ

第4回 先生対象ワークショップ

「融合を通した新しい学び舎」

時間・場所 調整中

主催：長野県教育委員会 / 企画運営：コンテンポラリーズ+第一設計  
お問い合わせ：長野県教育委員会事務局 高校教育課  
高校再編推進室 tel:026-235-7452  
コンテンポラリーズ tel:045-680-5157 / mail:ito@contemporaries.jp